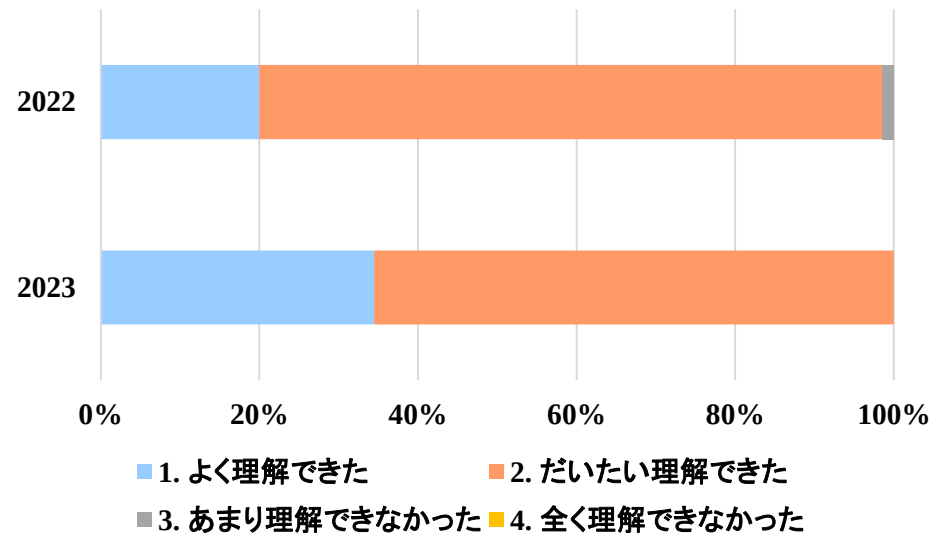
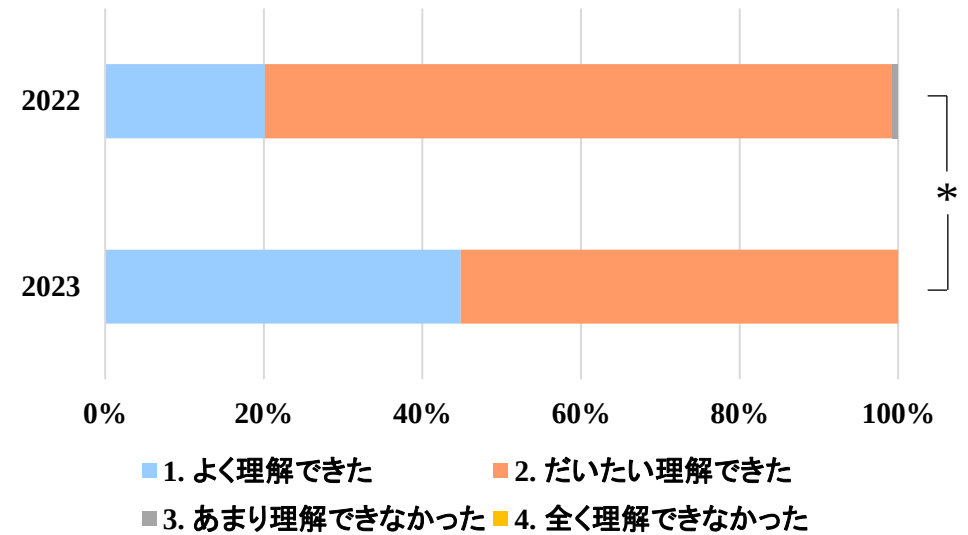


Q1 現代社会で数理・データサイエンス・AIがどのように活用されているか理解できましたか？

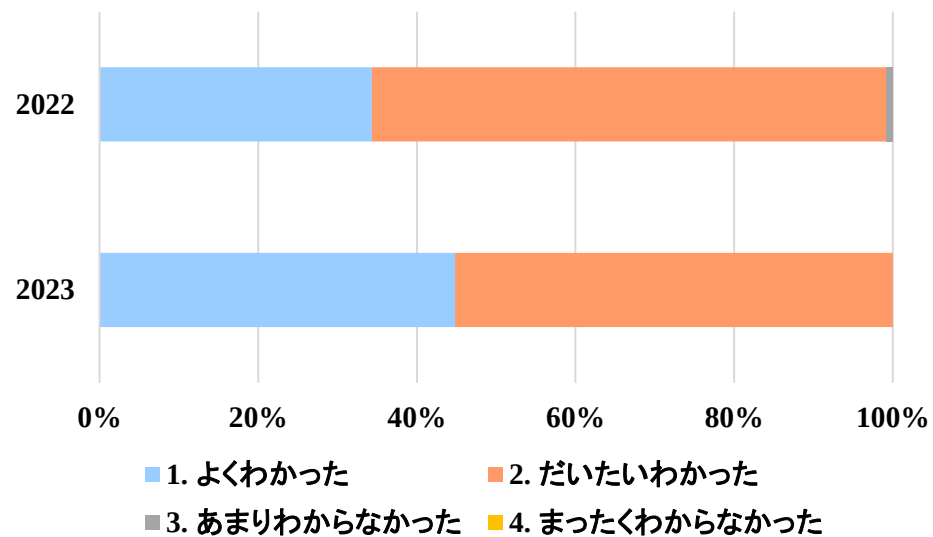


Q2 現代社会で数理・データサイエンス・AIが私たちの生活にどのようにかかわってくるか理解できましたか？

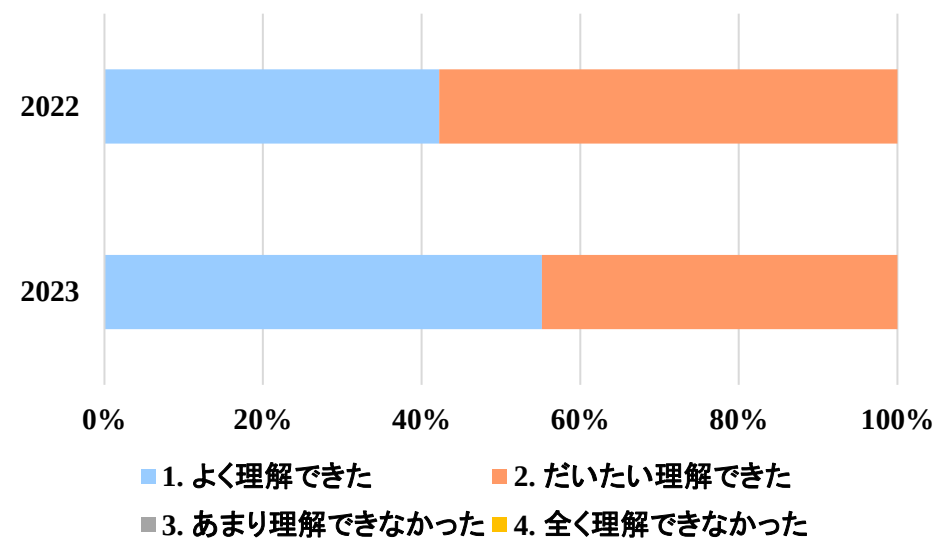


*: $p < 0.05$

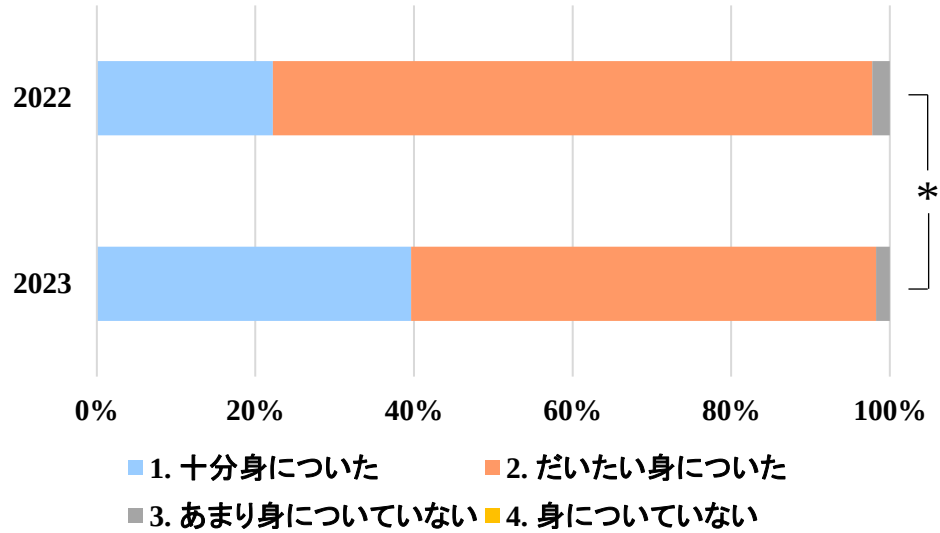
Q3 情報収集の方法を知ることができましたか？



Q4 情報収集の真偽を吟味することの必要性和その方法を理解できましたか？

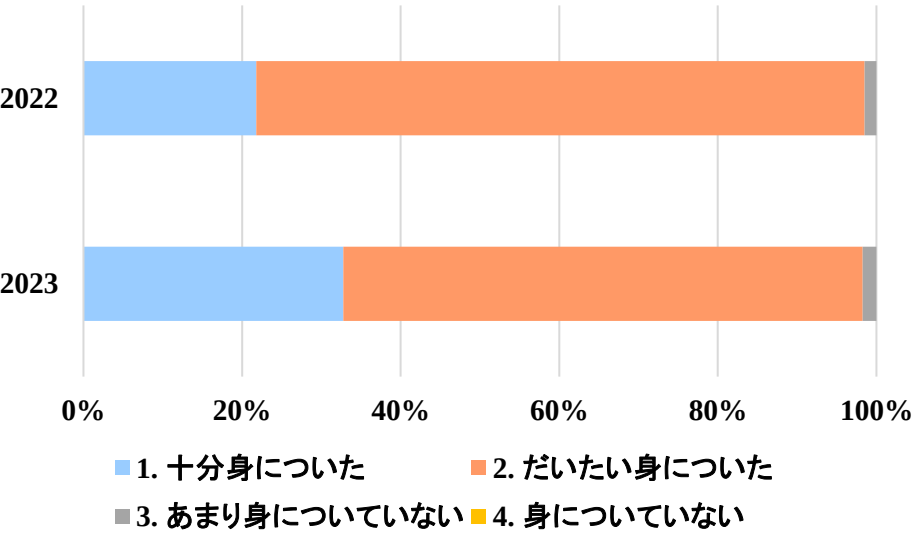


Q5 情報の数値化、数値化した情報の
処理・活用方法などの情報を活用する
基礎的能力が身につきましたか？



* : $p < 0.05$

Q6 数理・データサイエンス・AI能力を活用し、
現実的な課題を具体的に解決するため
の基礎的能力が身につきましたか？



アンケート結果の比較

- ・令和6年度はアンケート回収率が低かった。
- ・全てのアンケート項目について学生の理解度は上がっていた。
- ・特に項目Q2とQ5は統計学的に有意に改善がみられていた。

令和6年度取り組み。

- ・学生の理解度が上がった原因の詳細な分析を行う。
- ・令和6年度はオンラインでのアンケートだったため回収率が低かったと思われるため、令和6年度のアンケート調査方法を検討する。

令和5年度と6年度アンケート結果比較概要

実施主体 教学マネジメント会議 数理・データサイエンス・Ai教育推進分科会
アンケート実施対象 情報リテラシーおよび統計学を履修した学生